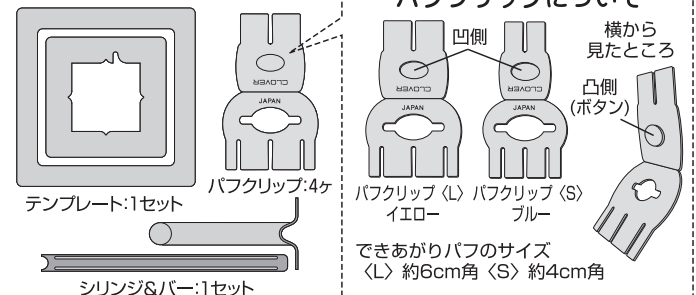


スターターセット
パフクリップ

※この説明書は〈L〉〈S〉共通です。イラストは〈L〉で説明しています。
67-506 67-507

セットに入っているもの



○ 適している布

普通地~薄地のコットンやリネン(ブロード、シーチング、ダブルガーゼ、ワッフルなど)、薄地ウールなど
※サテン、きもの地など、やわらかくすべりの良い布は扱いが難しくなります。

× 適さない布

中厚地~厚地(デニム、帆布、オックスフォード、別珍、パイルなど)、極薄地(オーガンジー、ガーゼ、レースなど)、皮革および合成皮革、コーティング加工布など

用意するもの

・布地、わた(手芸用ポリエステル綿など)

	トップ布	ベース布	わた
L	13.4cm角	9cm角	約2~4g
S	10.4cm角	7cm角	約1~2g

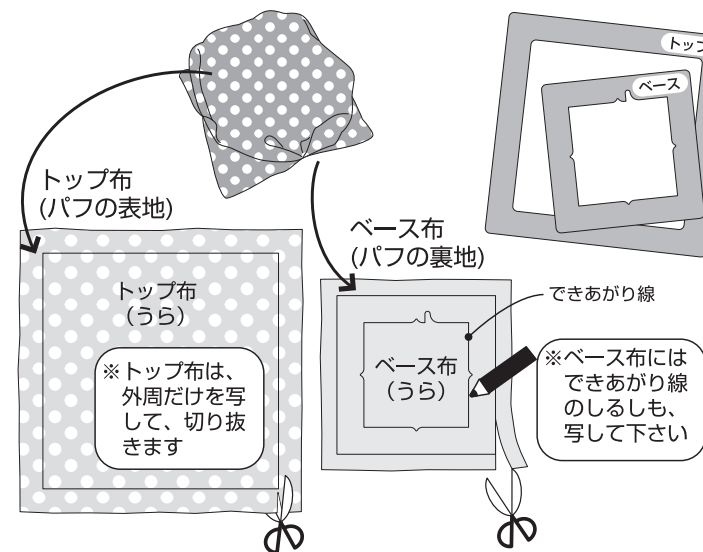
※わたの量は目安です。種類や詰め加減によって異なります。
※つぶ綿は適していません。

- ・待針
- ・片押さえ(ファスナー用押さえ金) ※ミシンを使う場合
- ・はさみ、ぬい針、ぬい糸
- ・鉛筆またはボールペン、チャコペル等
※布の裏面にしるしをつけるので、裏うつりしないもの

基本のパフの作り方

1 布の準備をします

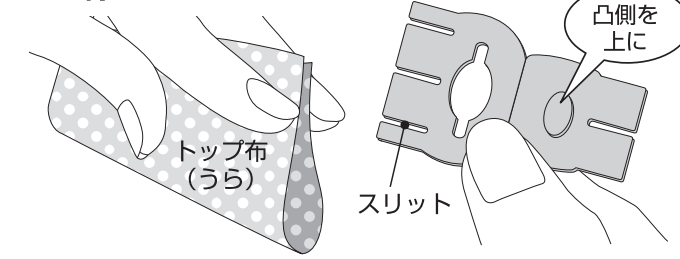
テンプレートの外周で布地の裏側にしるしをつけ、カットします。



※テンプレートは角が丸くなっていますが、布の角は四角く切って下さい。

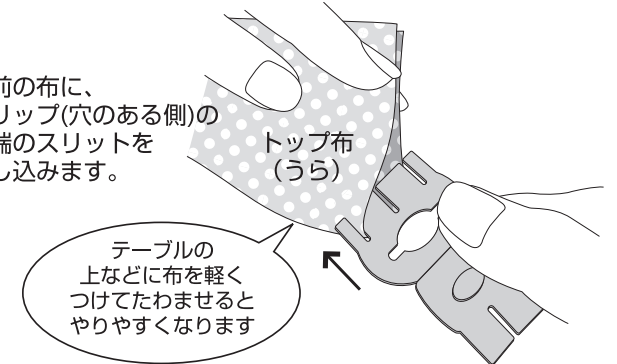
2 クリップでひだをたたみます

- ① トップ布を中表にして半分折り、図のように中指と人差し指で挟んで持ちます。凸が上になるように開いたクリップを、もう片方の手で図のように持ちます。



②

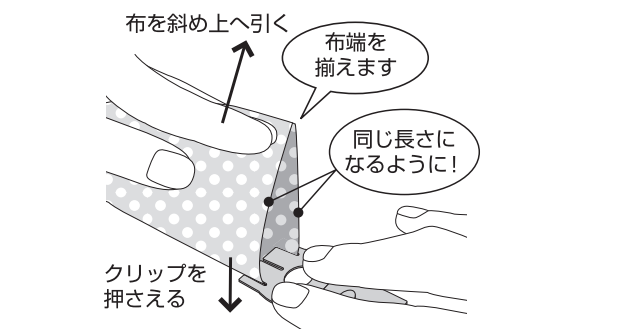
手前の布に、クリップ(穴のある側)の左端のスリットを差し込みます。



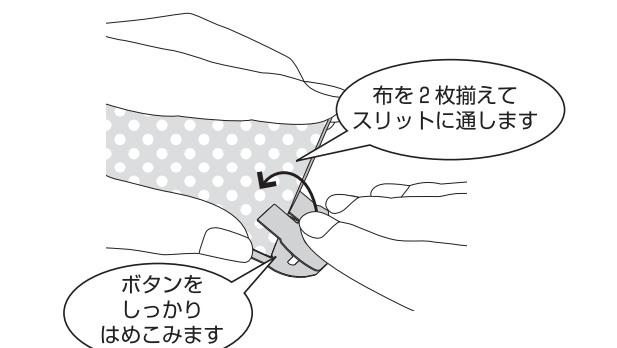
次に、奥の布を右端のスリットに差し込みます。



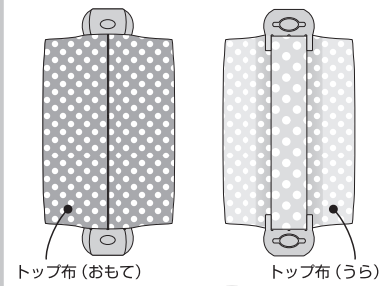
クリップを指で押さえて、軽く布を上へ引きます。(強く引きすぎるとスリットから布が外れるので注意して下さい)



反対側のクリップ(ボタンのある側)を起し、スリットに布を通します。ボタンがカチッと合まるまでしっかり押さえます。

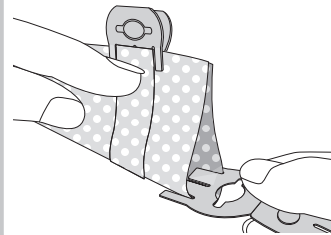


- ③ 反対側も同じようにクリップをとめます。

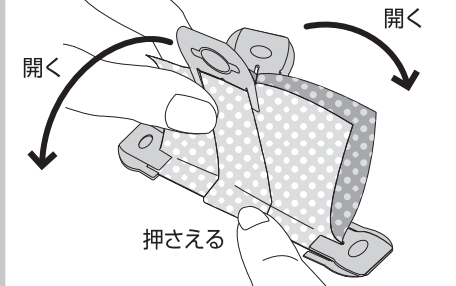


図のように布を開き、ひだに軽く折り目をつけます

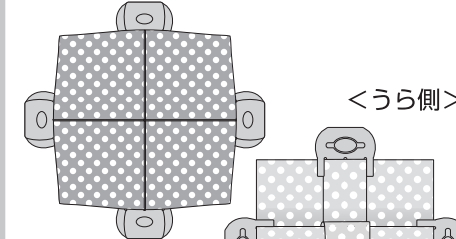
残り2ヶ所も同じようにクリップをとめます。



とめ終わったら、ひだを整うように指で押さえながら開きます。

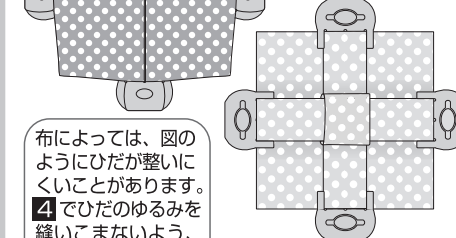


<おもて側>



布によっては、図のようにひだが整いにくいことがあります。
④でひだのゆるみを縫いこまないよう、気をつけて下さい。

<うら側>



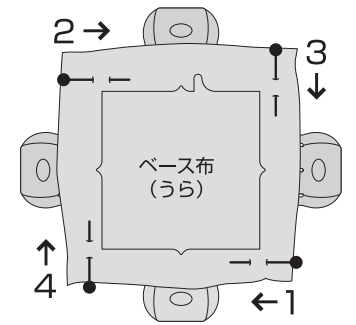
3 トップ布とベース布を合わせます

トップ布とベース布を中表に合わせます。

トップ布とベース布は、必ず中表に合わせます。(応用編モチーフも)

ひだの中央を合印に合わせます

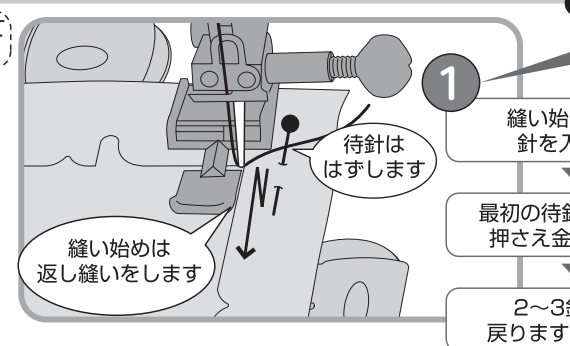
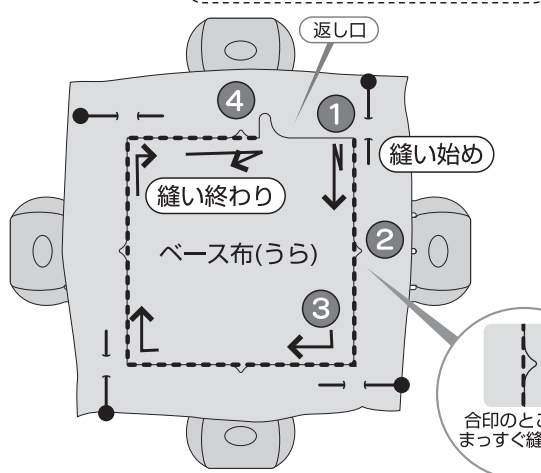
ぬいしろ部分を数字の順番に、図のように待針で止めます。



4 縫い合わせます

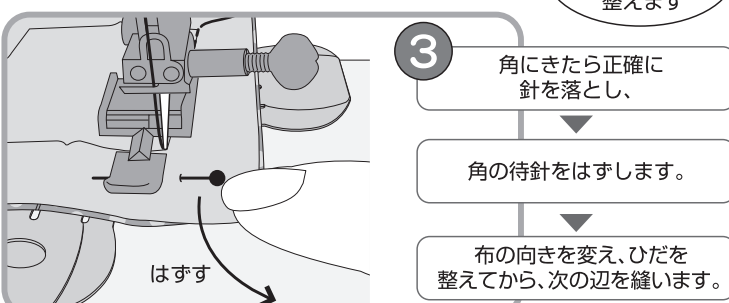
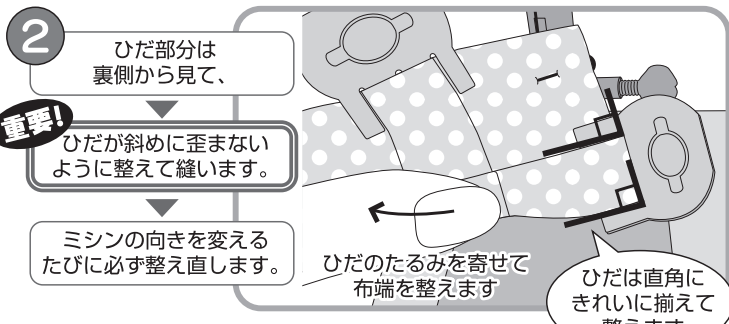
※手縫いでも作れます。(縫い始めと縫い終わりは返し縫い、その他はなみ縫い)
※〈S〉は角の縫い始めで押さえ金がクリップを踏むことがあります。注意して下さい。

※手縫いで作る場合は、④から始めて左回りに縫って下さい



重要! 必ず片押さえ(ファスナー押さえ)を使用し、低速でゆっくりと縫って下さい

- ④ 縫い終わりは返し縫いをします。
パフクリップをはずします。
縫いしろの幅を半分(5~8mm)に切り、縫い始め以外の角を斜めに切り落とします。
返し口をできあがり線で折っておきます。



※パフクリップを縫わないようご注意ください。ミシンの破損の原因となります。

